【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成26年8月14日(2014.8.14)

【公表番号】特表2013-541432(P2013-541432A)
【公表日】平成25年11月14日(2013.11.14)
【年通号数】公開・登録公報2013-062
【出願番号】特願2013-518375(P2013-518375)
【国際特許分類】
Ｂ２９Ｃ　45/14　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ２９Ｃ　45/14

【手続補正書】
【提出日】平成26年6月25日(2014.6.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
酸素吸収性樹脂層を含む多層ラベルを、メス型部の内壁表面又はオス型部の外壁表面に取り付けるステップと、
溶融樹脂をオス型部とメス型部との間のキャビティに注入し、それにより容器の成形及びラベル付けを同時に行うステップと、を備える、インモールドラベル付き容器を製造するプロセス。
【請求項２】
多層ラベルが、容器の外部表面又は内部表面の全てを覆う、請求項１に記載のプロセス。
【請求項３】
酸素吸収性樹脂層を含む第１の多層ラベルをメス型部の内壁表面に取り付け、酸素吸収性樹脂層を含む多層化されたシートをオス型部の外壁表面に取り付けるステップと、
次に、オス型部とメス型部との間のキャビティに溶融樹脂を注入し、それにより容器の成形と容器へのラベル付けとを同時に行うステップと、を備え、
多層ラベルが容器の外部表面の全てを覆い、多層化されたシートが容器の内部表面の全てを覆う、請求項１に記載のプロセス。
【請求項４】
酸素吸収性樹脂層が、エチレン－ビニルアルコール共重合体及び酸素吸収剤を含む、請求項１に記載のプロセス。
【請求項５】
酸素吸収性樹脂層が、多層化された酸素バリア層における副層であり、酸素バリア層が少なくとも１つの酸素バリア樹脂副層をさらに含む、請求項１に記載のプロセス。
【請求項６】
多層化された酸素バリア層の厚さが、約５～約１００μｍである、請求項５に記載のプロセス。
【請求項７】
多層ラベルが、少なくとも１つの耐湿性樹脂層を、多層ラベルの最外層又は最外層と最内層の両方としてさらに含む、請求項５に記載のプロセス。
【請求項８】

多層化された酸素バリア層が、以下の積層構造、即ち第１酸素バリア樹脂副層／酸素吸収性樹脂層／第２酸素バリア樹脂副層を有する、請求項５に記載のプロセス。
【請求項９】
耐湿性樹脂層の透湿率が、約４０℃の温度及び約９０％の相対湿度で、約４０ｇ・３０μｍ／ｍ^2・日以下である、請求項７に記載のプロセス。
【請求項１０】
酸素バリア層の外側に積層された１つ又は複数の任意選択の層の合計厚さがＸにより表され、容器の合計厚さがＹにより表され、比Ｘ／Ｙが約０．０１～約０．２５である、請求項７に記載のプロセス。
【請求項１１】
耐湿性樹脂層が、溶融樹脂と同一の樹脂で作製される、請求項７に記載のプロセス。
【請求項１２】
容器が、レトルト可能である、請求項１に記載のプロセス。
【請求項１３】
請求項１に記載のプロセスにより製造された、インモールドラベル付き容器。
【請求項１４】
酸素バリア層を有する多層ラベルを、型中で型体に隣接して取り付けるステップと、
ラベルを型体と溶融樹脂との間に残して溶融樹脂を型に注入し、それにより容器を形成するステップと、を備える、インモールドラベル付き容器を製造するプロセス。
【請求項１５】
酸素バリア層が、エチレンビニルアルコール共重合体（ＥＶＯＨ）及び／又は他の樹脂と酸素吸収剤とを含む、少なくとも１つの酸素吸収性（スカベンジャー）樹脂層を含む、請求項１４に記載のプロセス。
【請求項１６】
酸素吸収性樹脂層に含有されるＥＶＯＨ中の、百分率によるエチレンの含有量が、約５～約６０％である、請求項１５に記載のプロセス。
【請求項１７】
酸素吸収性樹脂層に含有されるＥＶＯＨのケン化度が、約９０％以上である、請求項１５に記載のプロセス。
【請求項１８】
酸素吸収剤が、有機化合物、第二級若しくは第三級炭素原子を有する重合体、ポリアミド樹脂、又は還元可能な金属の粉末である、請求項１５に記載のプロセス。
【請求項１９】
酸素吸収剤が、有機化合物である、請求項１５に記載のプロセス。
【請求項２０】
有機化合物が、二重結合を有する、請求項１９に記載のプロセス。
【請求項２１】
炭素－炭素二重結合を有する化合物が、ポリブタジエン、ポリイソプレン、ポリクロロプレン、ポリ（２－エチルブタジエン）、ポリ（２－ブチルブタジエン）、ポリオクテニレン、ポリペンテニレン、ポリノルボルネン、スチレン－イソプレン－スチレントリブロック共重合体、ポリブタジエン、及びポリオクテニレンからなる群から選択される、請求項２０に記載のプロセス。
【請求項２２】
酸素バリア層が、約５～約１００μｍの厚さを有した、請求項１４に記載のプロセス。
【請求項２３】
容器がレトルト可能である、請求項１４に記載のプロセス。